

すべての人にとって幸せな学校をつくるための 教職員の働き方改革

～ご理解・ご協力をお願いします～

つくば市では、教職員が働きがいや達成感を感じながら、授業の工夫・改善のための時間や、子どもと向き合う時間を確保し、子どもたちの豊かな学びにつなげるため、「教職員の働き方改革」を推進しています。

～教員の1日の勤務例～

勤務時間 8時10分～16時40分

※始業・終業時刻は学校ごとに異なります。

時間	業務内容
7:00	授業準備、登校指導、教室整備
8:00	打合せ、朝の会、朝学習指導
9:00	授業、休み時間
10:00	
11:00	授業、休み時間
12:00	
12:00	給食指導、清掃指導、昼休み見守り
13:00	授業、休み時間
14:00	
15:00	帰りの会、下校指導等
16:00	<ul style="list-style-type: none"> 授業準備、教材研究 部活動指導 テストの採点、成績評価作成 保護者、問合せ対応 各種事務作業 地域関係団体等の会議出席 行事準備等
17:00	
18:00	
19:00	
20:00	
...	



～限られた時間を 子どもたちのために～

教員の勤務時間は7時間45分です。

時間外勤務手当(残業代)は支給されません。

※代わりに基本給の5%*の教職調整額が加算されます。

*令和8年1月時点

先生の休憩時間は？

子どもたちが学校にいる間は、十分に休憩時間を確保することが難しいのが現実です。

もっと良い授業をしたいけど…

授業の他、生徒指導や進路指導、各種調査など事務仕事があり、授業準備や教材研究の時間の確保が難しいこともあります。

もっと子どもたちの話を聞きたいけど…

給食の時間は、安全な給食時間となるよう指導をしながら連絡帳や宿題の確認を行っています。

休み時間は、児童生徒の対応、次の授業準備、保護者への連絡などを行っています。



状況の改善に向けて

- 教員の業務の分量や比重を見直します。
- 負担を軽減をすることで生まれた時間は、**子どもたちへの教育に還元**していきます。

保護者・地域の皆様へのお願い

勤務時間内での対応にご協力を

- **勤務時間外は留守番電話対応となります。**翌日以降の勤務時間内にお電話をお願いいたします。
- 下校後のトラブル等は、ご家庭で解決いただくか、市役所・警察・消防署などの専門機関へご連絡ください。
- 個別の相談や忘れ物などについても、学校の勤務時間内での対応にご協力をお願いいたします。

学校との良い関係づくりにご協力を

- 給食、休み時間、登下校の見守り等、各学校のボランティア活動に積極的にご参加いただき、持続可能な学校環境づくりへのご協力をお願いいたします。
- 先生は子どもたちのことを第一に考えていますが、**学校では対応が難しいこともあります。**学校とご家庭がパートナーとして、子どもたちのよりよい成長に向けて何ができるか話し合い、共に考えていきましょう。
- SNSへの投稿など、先生や子どもを傷つけるような行為はお控えください。

つくば市教育委員会の取組

子どもたちへのよりよい教育の実現に向け、市と学校が一体となって取組を進めていきます。

学校への 人材配置



教職員の負担軽減のため、学校サポーター、学校管理員、特別支援教育支援員等の補助的人材や、スクールカウンセラー等の専門的人材を学校に配置しています。

働き方改革の 計画策定

「つくば市立学校教職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画」を新たに策定しました。時間外在校等時間とワークライフバランス等に関する2種の目標の達成に向け、着実に取り組んでいきます。

部活動の 地域展開



教員に代わり部活動指導にあたる部活動指導員の配置と、各地域の実情に合わせた部活動地域展開を実施しています。令和9年夏の中学総体終了後を目途に、休日(土日)の学校部活動終了を目指し改革を進めていきます。

つくば市教育委員会の詳しい取組はこちらをご覧ください。



各学校で行っていくこと

学校では、教職員の働き方の改善のために、教育の質を担保しながら様々な工夫を行っています。

行事の見直し



学校行事は、教育の目的や子どもたちの実情に合わせて精選・統合、規模の縮小、時間の短縮等、必要に応じて工夫や改善を行いながら実施していきます。

教職員の質向上に向けた勤務時間の工夫

市内全域の取組として、夏休み期間中に4日間以上の学校閉庁日を設けるほか、月2回の定時退校日の設定をします。また、40分授業や短縮日課など、子どもたちの実情に合わせ効果的に取り入れ、時間を有効に使い、教職員の質向上を図ります。

連絡手段等の 効率化



保護者の皆様との連絡手段、学校からの通知、アンケート、教材の購入等のオンライン化をさらに進め、利便性を高めていきます。

学校が行う取組へのご理解とご協力をお願いいたします。